

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和6年 4月 21日

事業所名：ポラリス神戸

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	当事業所は一軒家で運営している為出来る限りのリフォームを施しスペースを確保しています	90%が満足10%がわからない	定位数に応じた広さは確保できている
	2 職員の適切な配置	利用している子供の総数に対して1.6人~2人に1人は職員を配置するようしています	90%が満足10%がわからない	今後も継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	①でも申した通りできる限りのバリアフリー化を図っています	90%が満足10%がわからない	今後も継続していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃/消毒により確保しています。特はコロナ渦からは、消毒に関しては念入りに行っている	90%が満足10%がわからない	毎日の清掃/消毒により確保しています
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	スタッフミーティング時に話しあっています		全職員が参画するようにします
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今後は実施に向け動いていきたい		保護者や他部署の意見も取り入れながら改善できるようにします
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	会社全体での研修や年6回の事業所内での研修を執り行っている		今後も継続して執り行っています
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	年2回の保護者様との話し合いを行い作成しています		継続して執り行う
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	年2回の保護者様との話し合いを行い作成しています	90%満足10%がどちらともいえない	継続して執り行う
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	年2回の保護者様との話し合いを行い作成しています		継続して執り行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	情報共有をはかり実施	90%満足10%わからない	今後も情報共有を図り実施していきます
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフミーティング時に話しあっています		ミーティングも含め普段の支援時等意見を出し合いながら行っています
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	その時その時に対応した支援を実施しています。	90%満足10%わからない	コロナ渦の時期には野外活動が殆ど出来ていなかったもので、これからは野外活動を多く取り入れ活動していきたい
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者の適正に応じた内容で実施している		これからも継続して行っています
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前ミーティングは行っておりませんが、情報共有は図っています(LINEや連絡/引継ぎ用ホワイトボードにて)		今後も現在の方式にて情報共有を図って行きます
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後のミーティングも行っていませんがその都度気付いた点などは共有したり、連絡用ボードに記入したりしています		今後も引き続き行っています
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の利用者との連絡ノートと業務日誌にて対応しています		これからも継続して行っています
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回の保護者様との話し合いを行い作成しています		これからも継続して行っています

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	要請があるときには必ず出席しています		今後も要請がある場合には参加します
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケア児の受け入れは行っていません		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケア児の受け入れは行っていません		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援学校の先生の見学や送迎時の情報交換で共有を図っています		これからも積極的に情報共有を図っていきます
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今まで申し出がなかった為情報提供は行った事はありません		これからは連絡を取りながら情報提供を行うようにします
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関との直接のやり取り・連携はおこなっていません		機会があれば連携を図っていきます
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	園外行事等で知り合う障害のない子供たちとの交流はあるが意図して交流の場を設けることはしていません	10%が満足30%がどちらとも言えない 25%が不満足35%がわからない	出来る限り検討していきます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	ここ数年はコロナ渦であった為できていません		今後検討していきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時や面談時に説明をしています	95%が満足5%がどちらともいえない	今後も分かりやすいように説明していきます
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に説明をしています	95%が満足5%がわからない	今後も継続して執り行っています
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	随時アドバイスや情報の提供は行っていますがペアレントトレーニング的な事は出来ておりません	40%が満足20%が不満足40%が分からない	今後検討していきます
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	面談や送迎時にお話しをさせて頂いています	90%が満足10%がどちらともいえない	今後も連絡を密にとり共通理解を深めていきます
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	面談や送迎時にお話しをさせて頂いています	60%が満足10%がどちらともいえない30パーセントが分からない	普段からも相談・対応を心掛け支援していきます
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していません	10%が満足20%がどちらともいえない40%が不満足30%わからない	出来る限り検討していきます
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情担当受付を設けており対応をしています	80%が満足20%が分からない	今後も迅速かつ適切な対応を心がけます
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障害の特性に合わせた対応をしています	90%が満足10%がわからない	これからも配慮を怠らないよう支援していきます
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月作成してお配りしています	95%が満足5%がどちらともいえない	今後も継続して続けていきます
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについての同意書をとっている	95%が満足5%がわからない	これからも個人情報の取り扱いには十分な考慮をしていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成していますし保護者への周知も行っています	90%が満足10%がどちらともいえない	今後も継続して続けていきます
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を実施しています	30%が満足70%が分からない	避難訓練等を実施した時には保護者への通知も忘れなく行っていきます
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年に1度は必ず執り行っています		継続して行っていきます
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に係わる同意書を作成しています		継続して行っていきます
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からお聞きした内容で一覧表を作成		変更等がある場合には随時更新して情報共有していきます
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	執り行っています		今後も継続して執り行っていきます

